



ダンスチーム「CHEESE!!」 世界大会出場の夢かなう

かみや
神谷
れあ
玲亜さん

やました
山下
しずく
雫さん



長年の夢 世界進出がかなう

吉田町を本拠地にするダンスチーム「CHEESE!!」(チーズ)〔鈴木千草代表〕が、7月26日から米ロサンゼルスで開催される世界大会に出場する。出場するのはチーム内のオーディションで選ばれた小学5年生から大学生までの18人。4月に主要5都市で開催された日本予選を見事勝ち抜き、プロも含めた世界50都市のダンサーが集う大会「WORLD OF DANCE」の出場権を獲得した。

メンバーの山下雫さん(大山)は藤枝明誠中学校に通う1年生だ。もともと人前に出ることが得意でなかったが、ダンスを人前で披露するうちに苦手を克服したという。世界大会への意気込みを「皆から応援されている。期待に応えたい」と話す。神谷玲亜さん(中町)はチーム最年少で、第一小学校に通う5年生。自分の思いをダンスの動きや表情で人に伝えられるところが好きだという。世界大会への意気込みを「たくさん練習してきた。自信をもって踊りたい」と話した。

同チームは、2010年に結成。現在は周辺市町からレッスン生が110人も通う。当初は花火大会や祭りなど、地域イベントへ出演することを目標としていたが、実力の向上とともに目標を高く設定していった結果、世界大会に出場するまでになった。鈴木代表は、「子どものエネルギーを全力で出し尽くしてあげたい」と話す。

ダンスで可能性を広げたい

世界大会で披露するダンス「蜘蛛」は、振り付けから衣装のデザインまで鈴木代表が自ら考案。あるとき蜘蛛が特集されているテレビ番組をみたときに色や動きに芸術性を感じ、「蜘蛛をテーマにダンスを作ったら面白い」と考えたという。紫色と黄色を組み合わせた衣装を身にまとい、蜘蛛のもつまがまがしさを表現した動きは見る者の意表を突く。昨年末から「蜘蛛」を猛練習し、チームとして初めて世界への切符をつかみ取った。鈴木代表は、「次の目標は、他国から招待されること」と話す。CHEESE!!がもつ大きな可能性に期待したい。